

# ながおか・放課後子ども通信

令和5年8月31日発行(vol.6)長岡市教育委員会 子ども未来部 子ども・子育て課 ☎39-2393

学校・児童クラブ・地域の連携は「地域の子どもは地域で見守り育む」ことの基本になります。関係者の『win win』を引き出し、世代を超えた絆づくりにつなげましょう。

## 子どもと地域の絆を生み出す「小学校・児童クラブ・コミュニティセンター」の連携

長岡市立表町小学校 校長 山岸 力

平成7年に当校西校舎へ表町公民館が移行されて以来、表町コミュニティセンター（以下、コミセン）と児童館が学校と併設され、廊下でつながっています。日頃から、校地校舎内で教職員と児童がコミセンや児童クラブ職員と挨拶を交わし話をする中で、児童の安全管理や情報共有ができます。安全管理では、校庭で担任が下校指導を行う際、児童クラブ利用の児童がコミセン玄関に入る姿を児童クラブ職員と一緒に確認することができます。情報共有に関しては、児童の体調不良や問題行動等の情報を学校と児童館の職員が顔を合わせて共有でき、正確な情報共有と迅速な対応につながります。また、教職員が気軽に児童館に出向くことができるため、児童の様子を直接見たり、迎えに来た保護者と短時間の面談をすることもできます。



下校時に情報共有

これらの他に、コミセンが併設されていることのメリットもあります。

今年度の5年生が総合的な学習のテーマを「集い、つながる」とし、コミセンで行われている「まちなかコミュニティ食堂（以下まち食）」とコラボレーションした学習を進めています。児童がこの体験活動をきっかけに、まち食を活性化したい気持ちが芽生え、自分たちができることを企画・提案しました。児童は、人と関わることの良さや誰かの役に立つことの喜びを実感しています。コミセン・児童館と学校の施設がつながっていることで、児童とそれを見守る大人たちの心も自然とつながっていく有り難さを感じています。

表町コミュニティセンター長 久保田 規子

表町小学校は、コミセン・児童館・小学校、3つの機能が同一施設内にあり、安全管理や情報共有、地域住民とのかかわりで多くのメリットがあると感じています。

コロナ禍前は、高齢者が集う「ふれあい会食会」で、4・6年生が総合的な学習の発表の場として「狂言」や「町校の歴史をたどる劇」を見せてくれました。高齢者の感想を聞き、心温まる交流の場面もありました。

また、コミセンは廊下を隔てて表町小の体育館と隣接し、子どもたちの存在を肌で感じることができます。「子どもの声が聞こえ和む」とサークル利用者からも好評です。2年生が「ほら獲れたよ」と学年畑の野菜を見せてくれる時もあり、コミセン職員も収穫の喜びを共有しています。また、1年生が大切に飼育しているヤギの鳴き声も微笑ましく聞こえてきます。今年は、5年生が「まちなかコミュニティ食堂」とのコラボ学習をする予定で、どんな活動になるのか楽しみです。



みんな大好き水遊び

コロナも落ち着き、ようやく夏休み中に児童館行事「水遊び」を開くことができるようになりました。子どもたちの様子を見に先生方も来てくれます。

厚生員も児童のことで気になることがあると、学級担任に即相談できるので感謝しています。『ごく普通の日常的な連携によるつながり』が表町の宝物です。

## 新たにスタートした「放課後子ども教室」に沸く大積児童館

大積児童館長 堀 進

5月から私たちの「大積児童館」にも放課後子ども教室が開設されました。募集を閉め切ったら、なんと7教室に延べ57名の応募があり、全7教室でスタートを始めました。教室は伝統芸能、習字、算数に絵画、箏の演奏やヒップホップ等多方面に渡っています。コミセンまつりや作品展に向け奮闘中。各教室の様子をご紹介します。

【大積あめや踊り】見学から入会へと2名増え、8名活気が出ています。

【箏の演奏】箏の仕組みや弦の名前を教えてもらい弾く音も力強さが増してきています。

【習字、硬筆】講師の名前のお手本をもとに練習し、上手に書けると〇印をもらい喜んでいきます。

【宿題補助】個別指導をしています。今は算数と宿題補助と教室を分けて指導しています。

【絵画・俳句】大人でもちょっと難しそうな『火焰土器』のデッサンや俳句にも果敢にチャレンジ中！

【ヒップホップ】1番人気のヒップホップ「踊るのが楽しい！」元気一杯の子どもたち。コミセンまつりでの発表が今から楽しみです。



元気いっぱいヒップホップ

## 「放課後子ども教室」実務者情報交換会

6月28日に「放課後子ども教室」の実務者で情報交換会を行いました。これは、いくつかの実施地域から「ほかの地域が何をしているのか知りたい」といった声から企画したものです。

全教室から22名の参加があり、5グループに分かれ「困っていること」「やって良かったこと」「人気教室」について情報交換を行いました。

「もっと時間がほしかった」といった声が多数聞かれ、大変盛り上がり、有益な時間となりました。この話し合いで出された要望を受けて、講師の名簿等の資料を作成中です。

<参加者アンケート・自由記述から>

- ・抱えている悩みを共有できてよかった。
- ・講師探しや活動内容など参考にしたい。
- ・種目増加を検討したい。
- ・講師の名簿などがあると良い。



付箋を使った情報共有

## 米百俵プレイス「ミライエ長岡」西館オープン



若者向けの図書もたくさん

米百俵の精神を未来へとつなぐ新施設としてミライエ長岡が7月22日オープンしました。「人づくりと産業振興」を総がかりで支える地方創生の拠点として、多世代の方に利用してもらいたいと願っています。

互尊文庫では「毎日にひらめきをプラス」をコンセプトに、未来に向けて学びをアップデートしていく場所となっています。是非、足を運んでみてください。

(※蔵書購入には「長岡地域青少年育成委員会」の寄付金が活用されています。)

## 児童館・児童クラブにおける館長の役割

四郎丸児童館長 押見 憲一



館長の役割で大切に考えることは、児童に接する厚生員の更なる質の向上です。そのためには対処のみでなく、「当たり前の事をスムーズに行動できる質の確保」が重要です。しかしながら、当たり前の事とは何か解らなければ行動には繋がりません。ですから、市の担当課資料とともにオリジナルの「コンプライアンス行動指針」という資料を作り、繰り返し研修の機会をもっています。若干内容をご紹介します。

### 「コンプライアンス行動指針」より抜粋

- ・ 隠し事をしない。(マイナス情報であればあるほど迅速、確実に「報・連・相」を実行し、最善策の立案に寄与します。)
- ・ 問題から逃げない。(問題の芽は発見次第摘み取り、早期に解決します。)
- ・ 人のせいにならない(問題が発生した時は、責任回避の方法を考えるのではなく、迅速確実な解決方法および再発防止策を考えます。)
- ・ 公私混同をしない。(職場での立場と私的な個人としての立場にけじめをつけます。)

当たり前のことを文章化、見える化し、折々に指導しています。

これらは、私を含め全員が自分の問題としてとらえ、気付く力と即断即決の判断と実行のタッグを組んでとを考えます。このことにより児童館・児童クラブの児童の安全と安心に、より寄与できればと思っています。

## 今後の児童館・児童クラブの運営について（進捗報告）

これまで、児童クラブの課題として「欠員補充」「配慮児対応」「事務負担」「連絡体制」があげられてきました。そこで、民間活力を導入することにより、児童厚生員の負担を軽減し子どもの見守りに専念できる環境を整え、解決に繋がりたいと考えております。

また、今後も引き続き、地域との協働体制（地域の子どもは地域で見守り育む）を維持しつつ、より良い運営体制が構築できるよう、民間活力を導入している先進自治体の視察等を行い、良い部分は取り入れたいと思います。

また、関係者との協議の中で、保護者や地域（学校）、児童館長、児童厚生員に内容を丁寧に説明し、合意形成をはかることが重要であるご指摘いただきました。そのため、よりよい児童クラブにするために、関係者の皆様への説明会等の回数を増やして実施してまいります。

引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※持続可能な運営を目指し、令和3年度から児童館・児童クラブの在り方を検討しております





## 皆さん！お気軽にご利用ください！「黒条みんなの食堂」

黒条みんなの食堂は、月に1回お弁当とお惣菜の配食をしています。地域問わず誰でもみんな利用オッケー！プロの料理人も交えて楽しく作っているので、毎日のごはんを頑張っているお母さんに、気軽に利用してもらいたいです。この食堂をキッカケに人と人との繋がりを作って、イザという時に手と手を取り合えるコミュニティを目指しています。



## 気軽においでください！トークルーム「ぷらっと」



こども発達相談室では、お子さんの成長や発達に関する不安や悩みごとの相談に応じています。中でも、「トークルームぷらっと」は、お子さんの発達に悩む保護者の方が気軽に立ち寄り、ペアレントメンター\*や、子育てに関する保護者・地域団体の方々と、悩みや困りごとの相談・交流が出来る場です。

日々の子育ての中で悩んだり、迷ったときには、ひとりで悩まず“ぷらっと”相談に来ませんか。



詳しくは、右のQRコードから「トークルームぷらっと」HPをご覧ください。

※ペアレントメンター：発達障がいのあるお子さんの養育経験のある保護者。

県の養成研修を受け、同じ親としての視点で子育て中の方の相談に応じます。

## 新任職員ご挨拶



子ども未来部長 星野 麻美

今年度から子ども未来部にまいりました。長岡市は妊娠期から義務教育課程までを一貫して教育委員会が所管し、子どもたちの健やかな成長を見守っています。子どもたちの安全・安心と、笑顔を守るこの仕事に携われること、とても嬉しく思います。

長岡は米百俵の精神が息づく教育のまち。そして、縄文時代にさかのぼる歴史、四季折々の表情を見せる豊かな自然、清らかな水と空気が育む農と食など、その文化は非常に多彩です。皆さんから「長岡で育ってよかった」「育ててよかった」と思ってもらえるよう、長岡の素晴らしさを活かした子育て施策の充実に努めてまいります。

どうぞよろしくお願いたします。